



学校だより

えのき 7月号



皆野町立皆野小学校 令和8年7月1日 発行

「気づき」考える子に

校長 吉田 浩

6月はサッカーのワールドカップが開催され、世界中で盛り上がりを見せています。日本代表が、世界の強豪国と対等に渡り合う姿を見て勇気をもらいます。

そんな中、先日の校長講話では、サッカーチームのコーチを長年務めていた方の言葉を紹介しました。それは、「**強いチームは、必ず〇〇〇〇ができる。**」



その〇〇〇〇とは「**あ・い・さ・つ**」でした。「強いチームは、必ずあいさつができる。」ということです。ですが、そのあいさつも、ただあいさつするだけではなく、「**自分からあいさつができないと強くならない。**」そうです。

それはなぜでしょうか？それは、自分からあいさつができる人というのは、「**気づく力がある人**」だからです。例えば、廊下を歩いていて、「向こうから人が来ているな、あ、先生だ。あいさつしなきゃ。」と、自分から気づいて、「おはようございます。」と自分から言えることが大切です。自分からあいさつができる人は、サッカーの試合中でも、「前から敵が来ているな、パスをしよう。」と自分から動くことができます。残念ながら自分からあいさつができない人は、「**気づかない人**」ということになります。「おはよう」と言われてから、「あ、おはようございます。」と言っている人は、前から来ている人に気づかない、ということです。サッカーでいうと、ドリブルをしているときに敵に気づかず、ボールをとられて、「あっ。しまった。」となってしまいます。

おはようございます!!



このように、あいさつを自分からすると、**いろいろなことに「気づく力」**を身に付けることができます。そして、その**気づき**が次の行動につながり、成功する確率が高くなります。それは、サッカーだけではなく、野球、バスケットボール、ラグビー、どんなスポーツ、**もちろん勉強にも、お友だちとのかかわりでも、どんな仕事をやるうえでも役に立つ力**です。皆野小学校でも学校教育目標に、「**気づき考える子**」を掲げています。そして、「皆野小のあいさつ」の合言葉として、**あいての目を見て、いつでもどこでも、さきに つづけて** を掲げています。「**気づく力**」を高めるためにも、今後も「あいさつ」に力を入れていきたいと思えます。



皆小HPもぜひ
ご覧ください